

ICTを活用した学校教育の推進について

2025.10.28

第2回仙台市GIGAスクール推進協議会



仙台市教育委員会

ICTを活用した学校教育の推進について

- 1 **GIGAスクール構想推進について**
- 2 **リーディングDXスクール事業の学校支援等**
- 3 **生成AIパイロット校の学校支援等**
- 4 **情報活用能力目標リスト作成委員会**
- 5 **GIGAスクール構想の取組紹介**

仙台市教育センターのGIGAスクール構想推進について

【教育センターの事業】

- 学校情報化研究委員会
- センターHPの運用
- ICTを活用した事例収集・配信
- 情報活用能力目標リスト作成
- 授業づくり訪問
- OJTサポート訪問 等

令和6年度までの主な業務

【教育指導課の事業】

- 管理職研修、初任GIGA研修等
- 端末活用状況調査
- 情報活用能力意識調査
- GIGAスクールに関する保護者アンケート
- リーディングDXスクール事業
- GIGAスクールサポートサイト等

①【研修】

- 年次研修、授業づくり研修
- GIGAスクール構想推進のための管理職研修
- 新規採用教職員向けGIGAスクール端末活用研修
- ICT活用指導力レベルアップ研修
- GIGAスクール推進担当者研修
- プログラミング研修
- 生成AI研修

②【訪問】

- 授業づくり訪問
- OJTサポート訪問

③【研究】

- 学校情報化研究委員会
 - ・教育データ利活用部会
 - ・情報リテラシー部会(生成AIパイロット校事業)
- リーディングDXスクール事業
- 情報活用能力目標リスト作成委員会

④【学校支援】

- 1人1台端末活用の事例収集と配信
- GIGAスクールサポートサイト
- 端末活用状況調査、情報活用能力意識調査 等

教職員の実態とニーズに合わせた研修で教員のICT活用力の向上につながる。

近年の実態に合わせた先進的な研究を強化することで、GIGAスクール構想の推進につながる。

ICT活用事例の情報を得ることができ、授業改善や教員ICT活用のレベルアップにつながる。

リーディングDXスクール事業の学校支援等

リーディング DX スクール事業認定校

八木山小学校
「学習者主体の学び」の
ためのICT活用等

柳生小学校
授業での効果的な活用
等

根白石中学校
不登校支援も含めた個に
応じた学習のための ICT
の活用等

研修会、学習会の実施

取り組んだ内容

- ・リーディングDXスクール夏季学習会への参加
- ・「学習者主体の学び」のためのICTの活用についての研修会の実施

- ・端末活用や情報モラルについて保護者への周知

今後の予定

- ・ICTの効果的な活用についての研修会の実施 等



【学習者主体の学びについて話し合うの様子】

端末活用支援

取り組んだ内容

- ・「学習者主体」の授業の検討
- ・デジタル学習環境を生かした授業の検討

今後の予定

- ・校務での有効的な活用方法についての検討



【動画を確認して次の練習方法を選択している様子】

生成AIパイロット校の学校支援等

学校情報化研究委員会

【教育データ利活用部会】

- ・上杉山通小
- ・茂庭台中

【情報リテラシー部会】 (生成AIパイロット校)

○教育利用(授業)

- ・八軒中学校
- ・松陵中学校
- ・館小学校

○校務利用

- ・八軒中学校

研修会の実施

- ・情報リテラシー研修
- 研修会の動画配信・他校の参加

学習会への参加

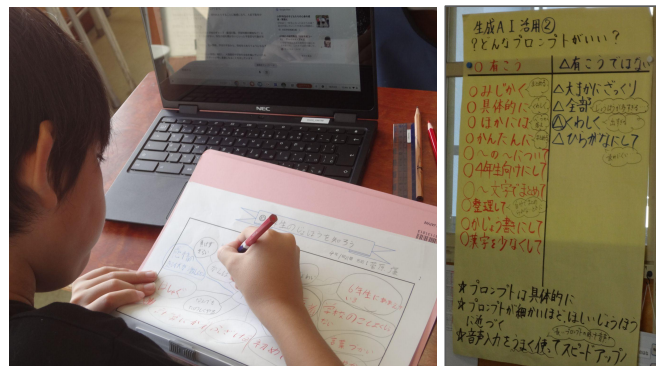
- ・生成AIパイロット校夏季学習会
 - ・他県生成AI関連研修会 等
- 先進事例の共有

授業づくり支援

- ・情報モラルの授業
- ・生成AI自体・使い方を学ぶ授業
- ・各教科等の学びを深める授業



【生成AIに関わる情報モラルの授業】



【生成AIとの対話を通して考えを広げる児童・掲示物】

情報活用能力目標リスト作成委員会

仙台版 情報活用能力 学習目標リスト			
	学習内容	レベル1 (小学校下学年)	レベル2 (小学校上学年)
基礎スキル	A1 記録と編集	写真や動画の撮影、音声の記録をする	写真や動画、音声の加工・編集をする
	A2 PCの操作	キーボードで文字を入力する	ドラッグ操作を用いた移動作業のためにコンピュータを選択する
	A3 ウェブ検索	キーワードで検索する	サイトの構造を理解して情報を集める
	A4 画像利用	授業室内にある表を見付ける	図表・新聞・グラフ・図表を用いて必要な事や記事を見付ける
実践スキル	A5 インタビュー	授業内を見学する	予備をしてインタビューするべき質問を議ぶ
	A6 アンケート	何を聞くかを考える	目的に合った質問の形式や内容を考える
	A7 メモ	大事な事と想ったところを思い言葉で書く	箇条書き・単語でポイントをとめる
	A8 評価表	「何を学ばせたか」大きな声で発表しやすいように話す	資料を効果的に示しながら発表する際の時間など伝え方を工夫する
探究スキル	B1 取捨選択	情報解決に役立つ情報を選び出す	複数の情報から関連・相違点を捉える
	B2 読み取り	一つの資料から視点を換えて情報を読み取る	複数の視点を併せて新たな意味を見いだす
	B3 創造	情報から分かったことをまとめる	相手の立場を思いやり新たなアイデアを思いつく
	B4 伝達内容の整理	他の情報を組み立てる	相手の立場を思いやり新たなアイデアを思いつく
活動スキル	B5 最終の発表	プレゼン、動画、動画などメディアの機能に活用する	伝えたいことに応じて表現を工夫する
	B6 受け手の意識	相手の意識して伝え方を工夫する	相手の関心や興味に応じて伝え方を工夫する
	B7 学習計画	決められた計画に見通しを持つ	自分で計画を立てる
	B8 評価と改善	学びを振り返る	振り返りを基に次にやるべきことを考える
情報モラル	C1 物事の分類	物事を部类に分けて捉える	部類を組み合わせ物事を整理する
	C2 情報の分類	情報を決められた観点に分類・整理する	観点を考えて情報を分類する
	C3 情報の関係付け	情報と情報の間にある関係に気付く	情報と情報の関係を図やグラフで表現する
	C4 問題解決の手順	問題解決の流れを順に示す	問題解決の手順を順に示す
プログラミングスキル	C5 実行結果	うまくいかない時に繰り返し実行し直す	実行やシミュレーションを通して問題解決の方向性や改善点を見いだす
	C6 データの傾向	傾向・減少等の大きなデータの傾向を見いだす	表やグラフを用いてデータを統計的に処理する
	C7 情報技術の発展	新しい情報技術がどんなものかを説明する	新しい情報技術にどう関わるかを説明する
	D1 コミュニケーション	相手によって受け止めが異なることを理解する	個性は個性であり受け止めが異なることを理解する
情報モラル	D2 権利と安全	人の作った作品や情報を大切にすること	著作権や肖像権に留意して情報を使う
	D3 健康と安全	情報機器を使ってよい場所や時間を守る	情報機器を使う場所や時間を自分で管理する
	D4 ルール・マナー	ルールやマナーが必要であることと理解する	ルールやマナーを他者と一緒に守る
	D5 セキュリティ	パスワードを安全に管理する	なりすましやウイルスなどの危険を理解する
生成AI	D6 個人情報	自分の情報をおまに他人にもらさない	自分の情報を他者に漏らすことを防ぐ
	D7 情報社会の発展	情報社会の特色を理解する	情報社会の特色について説明する

追加

レベル4 高等学校
(高校情報Ⅰ必修化)

レベル	1 小学校下学年 2 小学校上学年 3 中学校
A1～8	活動スキル
B1～8	探究スキル
C1～7	プログラミングスキル
D1～7	情報モラル

追加

C8 生成AIの活用
D8 生成AIリテラシー

系統的に
情報活用能力の育成

公開

現行のリスト 令和3年度改訂

GIGAスクール構想の取組紹介

1. 端末活用の普及

新規採用教職員向けGIGAスクール端末活用研修

- ・新規採用者に向けた端末の操作方法や授業での活用方法についての研修を実施。



2. 情報の発信

GIGAサポートサイトの充実

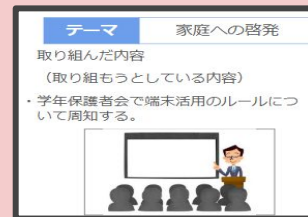
- ・GIGAに関する情報の集約。
- ・ステップアップ研修体系図を活用したGIGAスクール構想にかかわる研修。



3. 家庭との連携

GIGAスクール推進担当者研修会での検討

- ・今年度のテーマを「情報モラル」と「家庭へ啓発」を設定し、各学校で実践を促す。



4. SINETを活用したGIGAスクール構想の基盤整備と推進の研究

学校情報化研究委員会(情報リテラシー部会)「生成AIの活用」の研究

- ・学術情報ネットワークSINETの高速通信を活用した、生成AI実践研究と通信環境を検証。

